

## 令和元年度第3回湖南圏域 2025年医療福祉推進協議会 【議事概要】

日時：令和2年3月13日（金）14：00～15：30 【書面開催】

出席者：別紙委員名簿のとおり

傍聴者：なし

### 議題1 湖南圏域における病床機能分化・連携について

【資料1】により圏域全体の現状、将来の方向性について、【資料1-1】により市立野洲病院にかかる病院整備計画の変更について情報共有した。

【協議】草津総合病院の病院(機能)分離についてのご提案について【資料1-2】

地域医療構想における将来の方向性と関連して、意見は次の通りであった

委員) ケアミックス型病院を、急性期病院と慢性期病院に分類し、機能や質を重視した新しい病院に変換することは、大いに期待したいと思います。しかし、2025年には回復期病床が不足します。平成28年度の回復期病床は149、2025年度は合計150で増えていません。新しくつくる慢性期病院の回復期病床を、増やす計画に変更できないでしょうか。

委員) 在宅療養患者の増加を見据え、進行性難病の病状管理やがん末期の緩和ケア（特に疼痛コントロールにかかる麻薬調整等）等の専門性の高い領域にかかる診療所医師との協力体制や、急性増悪時の緊急入院や医療依存度の高い患者のレスパイト入院の受け入れ等、地域医療機関との連携およびバックアップ体制の強化を期待します。

その他の委員は、意見なしであった。

委員) 質問です。資料の結果・成果1 今後増加が見込まれる疾患や領域について、精神科の想定がありますか。

### 議題2 滋賀県外来医療計画(案)、滋賀県医師確保計画(案)の概要について

【資料2】によりパブリックコメント後の計画(案)について情報提供し、共有された。

委員) 「医師の養成課程等を通じた確保対策について」卒後研修、とくにマッチングによるスーパーローテーションで県内の病院にいかにも多くの若手医師を集め、定着させるかが重要なので、研修プログラム、待遇の整備改善を進めていくときである。県としても資金面でのバックアップをして欲しい。

委員) 滋賀県外来医療計画(原案)に対して意見・情報を提供させていただいた。同じく、  
医師確保計画(原案)に対して意見・情報を提供させていただいた。

### 議題3. 地域医療介護総合確保基金(医療分)について

【資料3】により令和2年度地域医療介護総合確保基金(医療分)の事業提案結果について報告があった。

委員) 地域医療介護総合確保基金の事業提案として、湖南圏域から事業が採用されたことは妥当と思われます。病院勤務環境改善支援事業費補助金が大幅に増額されています。病院職員の働き方改革に利活用したいと考えています。

### 議題4 圏域の世代分野を超えた地域包括ケア推進について

#### テーマ別情報共有・意見交換

【資料4】により「精神保健医療福祉」について、【資料4-1】により「災害医療体制、難病」について情報共有が行われた。

#### ○「精神保健医療福祉」について

委員) 地域・英語の community の訳語であろうと考えています。コミュニユ(commune)には動詞があり、「心を開いて語り合う」の意味であります。包括: including all の英語がいいと思います。Comprehensive ではなくて。ケア: キュアではなく、ケアが大切であると。システム: 「心: 循環システム」のように隙のなさが大切と思います。

#### ○「災害医療体制、難病」について

委員) 災害医療体制構築について。当草津栗東医師会でも、初めて災害担当理事を専任しました。災害医療地方本部の体制づくりに関して、医師会として有効に協調出来る様な仕組み作りを具体的に行っていく所存です。

委員) 草津市・栗東市の災害訓練は実施されないのか?

委員) 災害対策について、人工呼吸装着者は、指定難病・小児慢性以外にも、重症と身障児者などでも想像されます。市町と連携をとって頂き、対象を広げていただけるようお願い申し上げます。

次年度に向けて、【資料5】により協議会次年度の開催予定について確認した。

## 5. その他

### 【情報提供】全国健康保険協会滋賀支部から資料にて情報提供があった

委員) 協会けんぽ滋賀支部におけるジェネリック医薬品使用割合は、令和元年 8 月現在で 77.4%。国が示した目標である令和 2 年 9 月までに 80%以上とする目標の実現に向けて、医療機関・調剤薬局における使用割合と県内の平均を比較したリストと、県内に流通するジェネリック医薬品のリストを提供いたしますので、参考にしていただきたい。

以上